

令和5年度 第2学年 学年経営方針

学年主任 伊勢 竜太

1 生徒数 男子71名 女子69名 計140名

2 学年指導目標

- ・生徒理解を重視し、情報を共有した上で場に応じた指導をする。
- ・生徒との信頼関係を築きながらも、毅然とした姿勢での指導を心がける。
- ・保護者との連携を適宜図り、相互の協力体制を企図する。

3 指導の重点

<生活面>

- ① 話を聞くとときと、活動するときのけじめをつけさせる。
- ② 自分自身の長所を認め、短所を改め、思いやりの心をもって人と接し、互いに高め合える人間関係を築かせる。
- ③ 時間の大切さ、約束を守ることを意識させる。提出物の期限、登下校や教科時程、集合整列等における主体性を育てる。
- ④ 丁寧な「言葉遣い」と元気でさわやかな「あいさつ」「返事」を身に付けさせる。
- ⑤ 物を大切に扱わせ、生活しやすい環境は自分たちでつくることを意識させる。

<学習面>

- ① 生徒個々の学力を把握し、その優れた点や能力を伸ばすとともに、弱点を克服できるように支援する。
- ② 授業が学校生活の基盤であることを自覚させ、1時間1時間しっかり向かわせる。
- ③ 課題、提出物の期限を厳守させる。

<進路面>

- ① 自己理解を深め、自分の中学校卒業後の進路を決定する過程を通して自己決定力を育てる。
- ② 職場体験や上級学校学習を通して、卒業後のビジョンをもたせる。

4 学年経営の方策

①教員間の共通理解

- ・生徒理解、情報交換の場として、定期的に学年会を開く。休み時間、放課後は職員室で意識して情報交換をし、素早い対応を心掛ける。
- ・学年経営においては、方針の共通理解に努め、指導の一貫性を保つよう連絡を密にする。また各自の分掌の責任を明確に意識しながらも、全員で協力する体制をつくる。
- ・学級経営においては、クラス間で指導の一貫性を保ちながら、担任の個性を生かした学級経営を行う。

②生徒指導

- ・生徒一人一人を大切に、支援が必要な生徒に対しては学年全員で対応する。
- ・生徒には温かく接することを基本とするが、不正に対しては毅然とした姿勢で「叱る」指導にあたる。
- ・学校生活全般を通じ、生徒が活動できる場面を多く設定し、適切な助言を行う。
- ・現象面にとらわれることなく、心を掘り下げる指導を心がける。
- ・学級担任と教科担任の連携を図り、学習理解の遅れ気味な生徒への対策を講じる。
- ・必要に応じて生徒個々の家庭と連絡を取り、学校・家庭・地域が連携して早期対応を心がける。